

使っている花 ■ ケイオウザクラ、
ユキヤナギ、リュウココローネ、
フリチラリア(球根付き)

3月
March



サクラ

花言葉

精神の美 / 優美な女性

麗らかで儂い薄紅色
花といえば桜、はんなりとあしらって

プロが伝授! 花を長く楽しむアドバイス

- 木肌が美しく、花数の多い、つぼみのふっくらした枝を選ぶとよいでしょう。
- 生ける際は枝を切り戻し、ハサミなどで枝を割ると水がよくあがります。
- サクラはバラ科、切り花栄養剤を使用することで、花色も美しく長く楽しめます。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① 安定感のある器を選び、水を多めに注ぎ、適量の切り花栄養剤を加えます。サクラの枝の切り口にハサミをマイナスに入れ、枝を割ります。ユキヤナギは水に浸かる部分の葉をあらかじめ取り除きます。
- ② サクラを2枝ほど生いけます。花が咲いている枝は、器の高さ: 枝の長さ = 1:2くらいのバランスで、つぼみがちな細い枝はもっと長めでもOKです。
- ③ ユキヤナギの細いラインと、桜餅のような甘い香りがするリュウココローネをサクラの枝の合間に遊ばせるようにあしらいましょう。立ち姿が美しいフリチラリアを添えました。

サクラサク、美しい春へ

どんなに困難な時代であっても、日本人の心の花・桜の季節は巡ってきます。古代の人々は桜を神と畏れ敬い、精霊が宿る樹と伝えました。花店には促成のケイオウザクラ(啓翁桜)やヒガンザクラ(彼岸桜)、春が深まるにつれミヤビザクラ(雅桜)などが出回ります。リビングに桜を飾って、一足早いおうち花見を楽しんで!

Cherry Blossoms

